

「妊産婦・乳児救護所」をご存知ですか??

妊産婦・乳児救護所とは…

地震等による家屋の倒壊、又は倒壊の恐れがある場合、妊産婦・乳児のみを一時的に受け入れ、避難生活の支援や医療・健康相談を行う避難所です。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、津波等の被害により、多くの方が家を失い、避難所での生活を余儀なくされました。避難所では様々な方が共同で生活をするため、災害弱者である高齢者、障害者をはじめ、妊婦や乳児を抱えた母親は避難所生活において肩身の狭い思いをされました。

文京区では、被災地へ派遣した職員からの報告や区内の医師会からの提言等を参考に、区内にある大学や助産師会等の協力により、全国に先駆け、妊産婦・乳児への災害対策を実施しています。

「もしも災害が起きたら」をイメージしながら、ご一読ください。



対象者

妊婦、
乳児（0歳児）
及びその母親

スタッフ体制

避難所の運営は区職員及び各大学の教職員等が行い、妊婦・乳児のケアは、助産師会等から派遣される助産師、看護師、医師等が行います。

備蓄物資

非常食や毛布等の他、新生児用の粉ミルクやオムツ、非常用の分娩セット等を備蓄しています。

開設期間

区内で震度5弱以上の地震が発生した場合等、区災害対策本部の決定により開設します。

原則、災害発生の日から7日以内（最大延長7日間）

注意事項

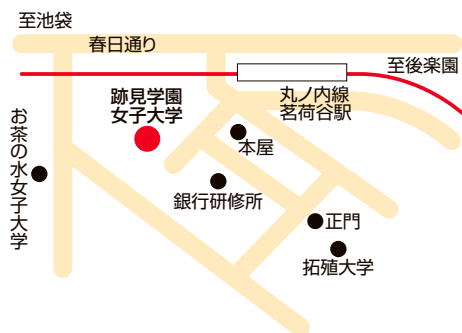
- 家屋の倒壊、又は倒壊の恐れがない場合、避難所へ避難する必要はありません。
- 妊産婦・乳児救護所の性質上、対象者以外の方は施設に入ることができません。
- 施設で対応できない重症患者等は、後方医療施設（順天堂大学病院等）へ搬送する場合があります。
- 施設の損傷等により安全が確保できない場合には開設しません。

妊産婦・乳児救護所に指定している

4つの大学

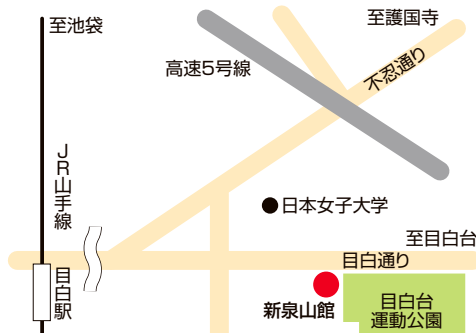
跡見学園女子大学

文京区大塚1-5-2



日本女子大学(新泉山館)

文京区目白台1-19-10



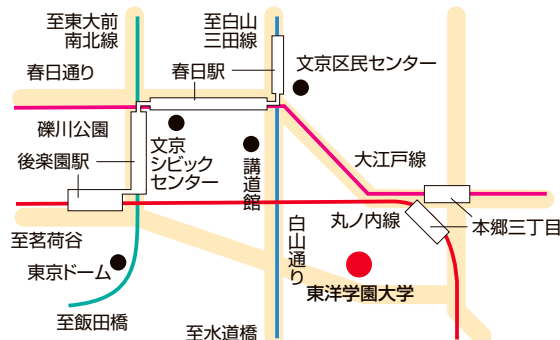
貞静学園短期大学

文京区小日向1-26-13



東洋学園大学(1号館)

文京区本郷1-26-3



災害が起きてからでは間に合いません!!!

日頃の備え

- 備蓄物資（最低3日以上）や非常持ち出し品の用意
- 家具の転倒防止器具の設置
- 窓ガラスの飛散防止対策
- 情報収集手段
- 家族の連絡方法（災害伝言板）

問い合わせ

文京区防災課

☎ 03-5803-1179

「文の京」安心・防災メールをご活用ください

大雨・地震等の災害情報を区民の皆さんへ迅速、適切に伝えるため、「文の京」安心・防災メールの配信を行っています。これらの情報は全て無料で配信していますので、災害への備えとしてお役立てください。

こちらから空メールを送信!

または
fbunkyocity@jijo.bosai.info
に空メールを送信してください

